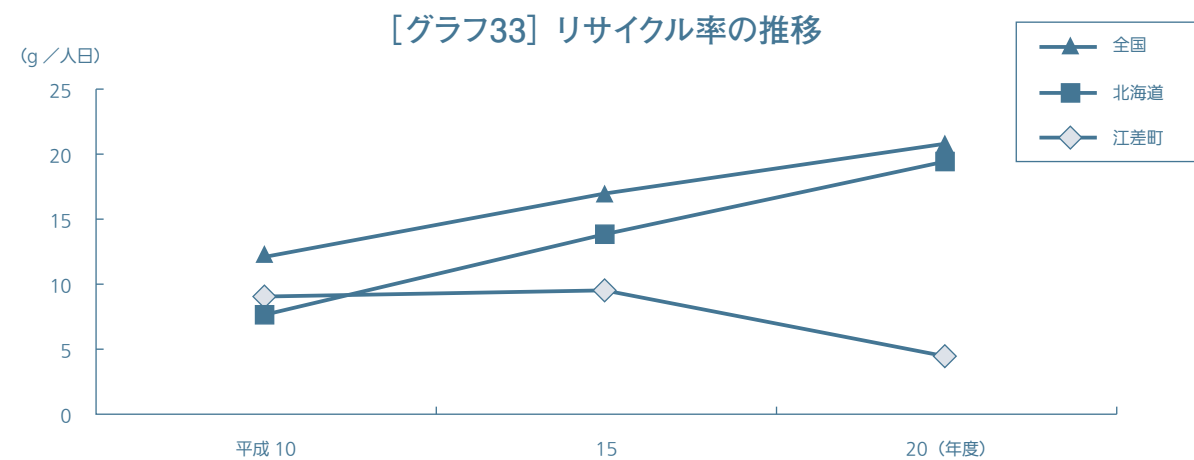
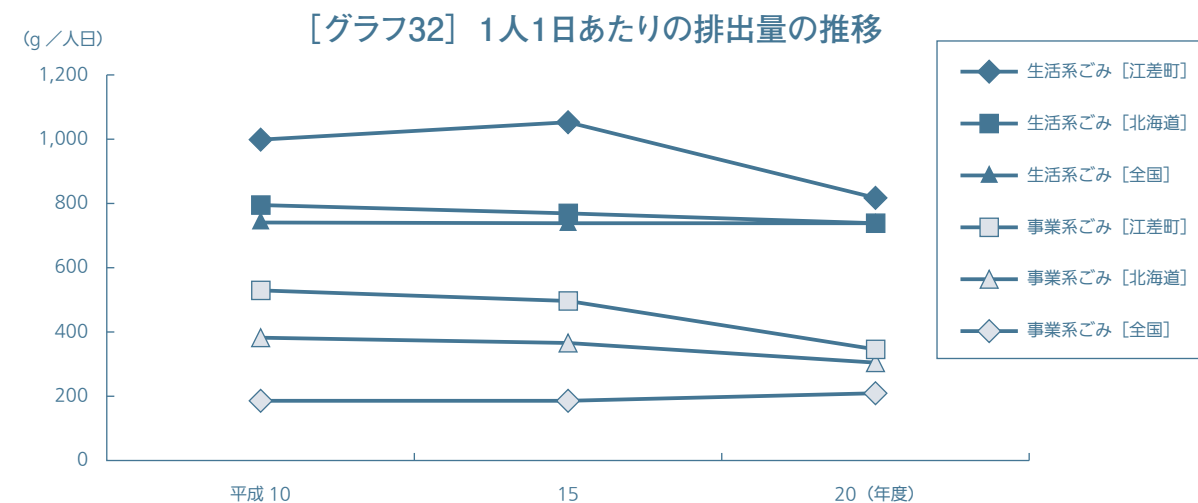


14 ごみ・し尿処理、環境衛生

現状

- 一般廃棄物(ごみ)は、南部5町(江差町・上ノ国町・厚沢部町・乙部町・八雲町熊石地区)で構成する南部桧山衛生処理組合によりごみ焼却施設を整備し、共同処理を行っています。分別収集を行い、不燃ごみの一部はリサイクルされています。
- し尿は、ごみと同様に南部桧山衛生処理組合において共同処理を行っています。平成21年度の処理状況は、し尿が7,333m³、浄化槽汚泥が1,870m³です。
- 産業廃棄物処理施設については、町内の処分場ですべてを受け入れできない状況となっています。
- 伝染病予防のための防疫対策とそ族昆虫駆除対策、狂犬病予防対策と動物の適正管理、有害鳥獣の駆除などを行っています。



(一般廃棄物処理実態調査)

課題

- リサイクル意識の高まりにより、町内会単位でリサイクル運動が行われるようになっていますが、生活系ごみの排出量は全国や北海道の平均と比べて多い状況です。住民からはペットボトル等の全町的な回収が求められており、リサイクル項目の拡大が必要です。
- し尿については、水洗化が進むにつれて処理量が大きく減少することが予想されており、施設の更新については、処理量予測を慎重に行い実施することが必要です。
- 産業廃棄物については、町内での受け入れについての課題があります。
- 環境保全対策については、今後も、住民生活の安全と安心を守るために関係機関との連携や地域住民の理解と協力を得ることが必要です。

課題解決に向けた基本方針

- ・ ごみ減少に向けた取り組みを進めます。
- ・ し尿の適切な処理を進めます。
- ・ 伝染病や害虫、有害鳥獣などから住民や住民生活を守る取り組みを進めます。

具体的な施策

- | | |
|-----------|--|
| ごみ処理の推進 | <ul style="list-style-type: none">・ リサイクルの普及に向けた啓発促進・ リサイクルの推進(ペットボトルなどリサイクル項目の拡大)・ ごみ減量化の取り組みの推進・ 分別意識の向上のための啓発の推進・ 南部桧山衛生処理組合による適正なごみ処理の推進 |
| し尿処理の推進 | <ul style="list-style-type: none">・ し尿処理施設の老朽化対策の推進・ 南部桧山衛生処理組合によるし尿・浄化槽汚泥の適正処理 |
| 環境衛生対策の推進 | <ul style="list-style-type: none">・ 防疫対策の推進・ そ族昆虫駆除対策の推進・ 狂犬病予防対策の推進と動物の適正管理・ 有害鳥獣の駆除 |